Hello ご近所ドクター

西野レディースクリニック
院長・婦人科・内科
西野照代先生

培った経験はかけがえのない財産 広く大きく包み込む親身な診療

様々な経験を経てたどり着いた患者と向き合う医療を実践

「産婦人科だった父が働く姿をずっと見てきたので、自然と医療の現場に興味を持っていましたね」。根は大阪のおばちゃん(!)と言うだけあり、明るく頼もしい雰囲気を持つ西野先生。小さな頃から医療を身近に感じながら育って来られたというが、医者の道を選んだのも、産婦人科医になろうと決めたのも、自分自身で決断したことだという。「産婦人科を選んだのは父の後を継ごうと思ったのではなく、手術がしたかったのと、本来なら関わり合いたくないだろう病院で、唯一"おめでとう"の言葉が言える場所だと思ったから。でもお産が起きる時間は昼夜関係なく、ハードな仕事だということはわかっていたので、父には反対されました(笑)」。

24歳で医師になった後は、様々な病院で勤務。二人のお子さんの出産に産休をとった以外は休むことなく働き続け、開業直前に勤務していた大手前病院では産婦人科の医長に就任。外来診療のほか、がん手術などの外科治療に明け暮れる毎日を送った。「外来で訪れる患者さんは2、3時間待つのは当たり前。オーダリングシステムを採用していたため、モニター越しに顔も十分に見れないまま、いわゆる3分診療を続けていました」。もっとじっくり患者と向き合う時間が欲しいと、満を持して開業したのは50才の時。今もなお大手前病院をはじめ数々の病院と連携し、専門的な検査や緊急時にも電話一本で素早く対応できる体制を整えている。

様々な医院が集うクリニックビルの最上階。院内は2階構造となっているが、エレベーター完備でお年寄りの方も安心

オーダーメイド感覚で多様な患者のニーズに応える

勤務医時代は卵巣がんの治療を専門に手術をすることも多かったというが、このクリニックでは一般的な婦人科疾患の治療や婦人科検診、不妊相談などを中心に診療を行っている。「小学生から80代のおばあちゃんまで様々な方がいらっしゃいますので、診療の際は、もし自分だったら、自分の身内だったらどうするか?という気持ちを持って向き合うようにしています。お産や妊娠、更年期障害などの悩みは自身の経験を元にお話することもできますし、例えば旅行や受験でどうしても生理を避けたい…そんなケースにも対応できるということを知らない人も多いので、あらゆる知識をお伝えすることで、少しでも楽になっていただけたら」。

山のような症例に携わってきたという経験、その財産を胸に先生が目指すのは、治療法を患者に選び取ってもらうという"オーダーメイド"の診療。ただ治療法を押し付けるのではなく、多種多様な患者の要望に応えるための、クリニックならではの医療方針だ。「患者さんが何を望まれているかを理解するためにも、カウンセリングに時間をかけるようにしています。特に勤務医時代からの患者さんには、やっと話せる!と大好評なんですよ」。先生が長年求め続けた親身な診療は実を結び、多くの患者を笑顔へと導いている。

やっぱりこの仕事が好き! 仕事と子育てを見事に両立

先生が二人のお子さんを持つお母さんだということは前述した通り。研修医時代に結婚、妊娠し、妊娠8ヶ月の際に勤務先で破水。緊急入院・絶対安静の状態も経験した。「当時、女医は医者の中でも全体の一割ほどで。必死で頑張ってきた矢先のこの出来事は、医者をやめるかどうかを考える機会にもなりました」。しかし上司に引き止められ続けることを決意。30年という長いのキャリアの中で、子育てと仕事を両立した、その大変さは計り知れない。「確かに子どもが小さな時は綱渡り状態でした(笑)。当直明けでもお弁当を作っていましたし、急な手術が入れば病院にも連れて行きました。でもやめようと思ったことは一度もなくて。夫や家族をはじめ、支えてくれた周囲の人々には、とても感謝しています」。

1.閉塞的な婦人科のイメージを払拭するため、できるだけ外の気配を感じられるようにと天窓を設けた明るい設計の院内。自然光を感じながらの癒しの診療は、多くの女性から好評だ。2.待合いには、無事出産を終えた患者さんから届く喜びの手紙がズラリと並ぶ

正しい知識を伝えることで安心の医療を目指す

女性として、母親として、医師として…数多くの経験とコミュニケーションを経て開業を叶えた先生が、この先目指すものとは?「最近は雑誌などでも婦人科診療の特集が多く見られますし、皆さんある程度の情報は持っていると思うんです。でも、実際はどうなん?と疑問や不安をお持ちの方に、様々な治療法はもちろん、ピルやホルモン剤などの薬の正しい知識を啓蒙していければいいなと思っています」。

さらに婦人科に行くのは勇気がいる、そんな人のために内科を設け、足を運びやすい雰囲気作りに力を入れるなど、女性の力になりたいという先生の努力は尽きることがない。「しっかりと自分の体のことを知って、おかしいなと思ったら一度相談に来てみてくださいね」。些細な悩みも温かく包み込んでくれる、大きなハートを持つ先生の今後に、これからも期待していきたい。

スタッフは先生を含め全て女性が担当。穏やかに優しく相談に応じてくれるから、気になることは何でも相談してみて

西野先生に質問Q&A

Q 趣味はなんですか?
A. ミステリー小説がとにかく大好き!中でも名作だと思うのは「フォックス・ストーン(笹本稜平)」。そのほかにも沢山あります!!最近だと、ドラマ化 でも話題になった「チームバチスタの栄光(海堂尊)」もよかったですね!あとは…やっぱりドライブかな〜。多いときは一日で600〜700km運転することも あります。好きなCDをたくさん用意して、ガンガンとばしてます(笑)

Q どんなCDを聴かれるんですか?
A. GReeeeNやミスチル、コブクロ、モンキーマジックなどなど…出勤時は車の中でFMを聴いているので、流行りの歌に結構詳しくなるんですよ(笑)

Q 今後チャレンジしてみたいことは?
A. 泳ぎに行きたいです。平泳ぎは高校生の時まで結構速かったんですよ。1週間に半日でいいから、自分の好きに使える時間が欲しい!

hospital data
西野レディースクリニック/TEL.06-6941-1501(予約優先制) 大阪市中央区徳井町1-1-8 大手前メディカルセンタービル8F・9F
http://www2.bbweb-arena.com/nua55966/

P44参照